

ユニゾーン 55周年祝う

工業用めっきを手掛けるユニゾーン(富山市綾田町、梅田ひろ美社長)の創立55周年記念感謝のつどいが7日、同市の富山第一ホテルで開かれ、節目の年を祝った。

取引先関係者ら約350人が出席。梅田社長が「これまでやってこれたのは皆さまのご協力のおかげ。心から感謝したい」とあいさつ。石井知事、森富山市長、本間博夫不

二越社長、田中一郎田中精密工業会長が祝辞を述べた。堀井弘之コマツNTC社長



つどいであいさつする梅田社長(中央) 富山第一ホテル

の発声で乾杯。創業者の梅田秀雄会長の歩みや会社の歴史をまとめた映像が上映された。高木繁雄北陸銀行頭取が中締めをし、梅田雄一朗ユニゾーン専務が謝辞を述べた。

長勢甚遠衆院議員、野上浩太郎参院議員、鹿熊正一県議会議長、河合北日本新聞社長らが出席した。

ユニゾーンは、自動車用部品、電機・電子部品などのめっき加工を行う。昭和30年に梅田商会として創業。平成2年、調和を意味する「ユニ」と地域の「ゾーン」を組み合わせて現社名に変更した。